

## 館蔵品展 「長崎家の籐細工―松江でつづく丁寧な仕事―」

### 開催要項（案）

松江藩の籐細工は、江戸時代後期の文政年間には作られ始めていたといい、下級武士が内職として煙管入を製作していたと伝えられています。この江戸時代の技法を現代に伝えるのが長崎家の籐細工です。江戸時代末期、松江藩の料理方であった長崎仲蔵が松江藩下屋敷で籐細工を作ったことが始まりとされています。2代目福太郎が長崎家秘伝の技とされる六弁の花模様が並んだ編み方「花結び」を考案するなど、各代で時代に合わせた籐細工を作り続けてきました。

籐細工の技術は、6代目長崎誠氏が「松江藩籐細工」として平成16年（2004）3月31日に島根県ふるさと伝統工芸品の指定を受け、さらに長崎誠氏の弟子である8代目川口淳平氏は令和5年度に「松江藩籐細工」として鳥取県伝統工芸士に認定され、現代にもその技を伝えています。本展は、初代長崎仲蔵から現在に活躍する長崎誠氏とその技術を受け継ぐ方々の作品を紹介します。

1. 会 期（予定） 令和7年（2025）7月18日（金）～9月15日（月・祝）  
(53日間)  
開館時間：9時00分～17時00分（最終入場は16時30分）  
休館日：毎週月曜日、祝日は開館し翌平日が休館。  
ただし8月12日(火)は開館。
2. 会 場 松江歴史館 企画展示室
3. 主 催 松江歴史館
4. 観覧料（予定） 大人480円（団体380円、松江市民240円）、小・中学生無料  
※団体料金は20名以上。  
※高校・大学・専門学校に通う学生は学生証の提示で団体料金適用
5. 担 当 者 松江歴史館 学芸員 大多和弥生（主担当）  
学芸専門監 的野 克之（副担当）  
住所：島根県松江市殿町279番地 電話：0852-55-5511（直通）  
FAX：0852-32-1611 E-mail：rekishi@city.matsue.lg.jp